

市民ネットワーク 市議会報告

2024年
4月15日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com



五十嵐ともみ 伊藤とし子 松島こずえ

2月市議会（2/26～3/26）

市民生活にもっと予算を！ 2024年度予算に異議あり

2024年度予算は、人件費、物件費、維持補修費などの固定的支出（経常的経費）が、23年度と比べて20億2千万円も増加し、市の貯金である財政調整基金等を35億7千万円取り崩して対応しました。市は、物価やエネルギー価格の高騰、人件費が増えたことが主な要因で、この傾向は今後も続くと予想しています。

◆ なお続く大型公共事業

「ふるさと広場拡張整備等事業」（総事業費約18億2千万円）の土地購入に3億5,032万円、利用目的があいまいな「里山自然公園」の重点整備区域の土地購入に6,695万円、ふるさと広場から草ぶえの丘に通じる総事業費約10億円の新設道路「飯野Ⅱ-31号線」の土地購入を含めた1億5,984万円が予算に計上されました。いずれも不要不急の大型土木事業であり、今後さらに十数億円投入される予定です。

◆ 市民生活に予算がつかない！

一方で、生活道路整備事業は、実施計画では約5億円の予算となっていたにもかかわらず、今年度は半分の2億5千万円に減額され、生活道路や通学路の改修、街路樹整備など市民生活に欠かせない事業が進まない状況です。また、子ども支援の新規事業は子ども食堂やプレーパークへの補助金が70万円と少額で、高齢者の喫緊の課題である認知症対策の新規事業はありません。物価高等で生活が苦しい市民が増える中、水道料金の滞納世帯への対応がおろそかになっていることも明らかになりました。

◆ 予算は市民のために

予算編成の段階から、非常に厳しい財政状況であると分かっていたにもかかわらず、多額の税金を投入する大型公共事業の見直しや中止など、抜本的な政策転換は行われませんでした。市民福祉のために税金を使うという基本に立ち返るべきと訴え、今年度予算に反対しました。

訂正とお詫び

2024年1月24日発行の市民ネットワーク市議会報告「千葉県誕生150周年記念事業に4千万円」の記事中の「ドローン30台」は「300台」の誤りでした。訂正し、お詫びいたします。

運転手不足が深刻化 佐倉市の現状

全国で運転手不足のため、バスの廃止や減便が相次いでいます。4月から労働環境改善のための改正が行われ、1人当たりの労働時間が短くなり、運転手不足はますます加速すると考えられます。佐倉市はバスの減便はあるが、市民への影響は最小限に抑えられるとしています。しかし、具体策は一切ありません。宮ノ台を走る東洋バスの廃止も協議され、影響は広がる一方です。

バス停まで遠い、目的地まで行けないなど、高齢者の声が多数寄せられ、タクシーチケットの助成を議会で求めましたが、市は考えていないことがあります。助成を行っている自治体もあり、今後も要望していきます。

「オーガニックビレッジ宣言」 有機農業推進は？

佐倉市は昨年3月に、有機農業を推進する「オーガニックビレッジ宣言」をしました。昨年度は、6件の生産者が技術指導を受け、有機米を栽培。市内の全小中学校で、2～3日有機米の給食が提供されました。市は独自の有機農産物の認証制度やネットワークづくりを進めているとのことですですが、相変わらず会議は公開されていません。生産者や市民が一体となり進めるはずであり、取り組み状況を市民に公開すべきです。市民参加で、有機農業に本気で取り組むよう求めていきます。



地球温暖化対策の力は「断熱で省エネ」

地球温暖化対策は待ったなしです。2025年から新築建物は省エネ基準が義務化されます。現在、学校の校舎は断熱化がされていません。

前真之さん（東大准教授）の埼玉県内での調査によると、7月の最上階教室の天井は42℃にもなり、エアコンを17℃に設定しても室温は31℃にしか下がらません。さらに、窓を閉めきっているため、CO₂濃度は3300ppm（文科省基準1500ppm）に上がっていました。健康被害の恐れがあるため適切な換気が必要です。

現在、佐倉市内の普通教室には

100%エアコンが設置されていますが、20年ごとに更新が必要で、その費用は25億円以上です。また、電気代は毎年2億円近くかかります。

天井、壁、窓の断熱改修をすると室温は文科省基準の28℃に下がります。電気代節約、更新時のエアコンの小型化につながります。

また、CO₂削減ができ地球温暖化対策となり、地域の工務店の仕事づくりにもなります。快適な学習環境を整えるために、計画的に行っていくべきです。



議会報告会のご案内

4月21日(日)13:30～
スペース結（王子台1-26-7）

県・市議会の最新情報を、
パワーポイントでわかり
やすく報告します。
どなたでもお気軽にご参
加ください。

市民ネットワーク（伊藤、五十嵐、松島）提出の意見書

意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明党	自由民主 さくら	共産党	公開と改革	無会派の会	
「重要経済安保情報保護・活用法案」の廃案を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	×	○
国の指示権を拡充する地方自治法改正案の廃案を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	×
食料・農業・農村基本法改正に「種子の自給」を盛り込む意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	×
稼働中原発の即時中止と原子力災害対策指針の抜本的見直しを求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	×	○
さくら・市民ネットワーク通信は5月22日発行予定		伊藤 五十嵐 松島	平野、櫻井 鶴田、高木 村田、敷根 斎藤(明) 望月、密本	押木 鍋田 長谷川	山本、橋岡、 徳永、齋藤 石井(秀)	木崎 石井	稻田 高橋	三井 宇田	三谷